

# 岩手 経済研究

IWATE KEIZAI KENKYU

No.315

# 2

2009

● あたりまえのことをしっかりやり続けること  
株式会社モリレイ 代表取締役社長 岡村 弥

やまびこ ● 「金融危機と岩手の未来」  
遠野市の施策 ● 「遠野わらすっこプランについて」  
特別調査 ● 「本県一丁産業の現状と集積構想」  
経済解説 ● 「岩手県内経済の動き」  
経営コーナー ● 「リーダーシップとはなにか? (その十三)」



はばたき

# 「あたりまえのことを しっかりとやり続けること」



株式会社モリレイ  
(矢巾町)  
代表取締役社長

岡村 弥

## 企業の概要

株式会社モリレイは、紫波郡矢巾町流通センターに本社を置く業務用食品卸売業を営む会社です。

「業務用食品」と言いますと聞き慣れない方もいらっしゃると思いますが、私共のお客様は学校や病院、介護施設、スーパー、ホテル、旅館、仕出し店、外食店など、大勢の方々に「食」を提供している組織や企業の皆様であり、その材料となる食のプロの方々を利用する食品を日々お届けすること

とを主たる業務としております。

私共の営業拠点は前述の本社を中心に、八戸支店、宮古営業所、一関営業所、関連会社である株式会社アキレイ（秋田県湯沢市）の五拠点であり、連結売上高が約四〇億円の企業です。

## 食の安全・安心

皆様すでに良くご案内の通り、ここ数年の「食」を取り巻く環境は「食の安全・安心への不安、不信」という観点で、連日の様にマスコミ報道等を賑わせてしまっている状況にあり、業界の一員として大変遺憾に感じているところであります。

安全で安心な食品を消費者の方々にお届けするということは、世界中に何億人という方々である食品を取り扱う全ての人にとって大前提のことであり、まったく「あたりまえ」のことです。

しかし、このあたりまえのことが、あたりまえにきちんと出来ていない事案が次々と明るみになるにつれ、「あたりまえのこと」をしっかりとやり続ける」ということの大切さを、あらためて痛感するところであります。

モリレイでは、「安全・安心な食品の供給」という経営理念のもと、平成十二年より「食品衛生委員会」を立ち上げ、主に食品製造業における代表的な食品安全管理手法であるHACCP（ハセップ）又はハサップ Hazard Analysis Critical Control Point 危害分析重要管理点方式）準拠体制の導入と、グループ五拠点への水平展開を約八年間に渡って実施して参りました。

また現在は、これまでの食の安全・安心に対する取り組みをさらに進化させることを目指して、食品安全マネジメント

システムの国際規格、ISO22000…  
2005の二〇〇九年中の本社認証取得に  
向けた活動を社員一丸となり推進して  
おります。

これらの一連の活動は、経営理念の具現  
化、当社のあるべき姿の実現のために必要  
不可欠な、「安全・安心な食品をお届けする」  
というあたりまえのことを、食品流通のプ  
ロとして愚直に極め続けていこうという当  
社の決意の表れであります。

#### 一流をめざすなら

スポーツが好きの方はたくさんいらっ  
しゃいます。しかし、そのスポーツで世界  
や日本の頂点を極める方はごくわずか  
です。そして、そのスポーツを極める人達は、  
まちががなく、誰よりもそのスポーツが好  
きで、その時その時の自分の実力に合わせ  
た適切な訓練や練習を選択し、誰にも負け  
ない愚直な努力をし続けた人達であると思  
います。

例えば「短距離走」というものを例にとっ  
てみますと、「かけっこ」が好きなお子  
供達は本当に大勢いると思います。そして、か  
けっこが好きだという点ではその大勢の子  
供達と、ウサイン・ボルトさんや朝原宣治  
さんなどの超一流の短距離走者は何も変わ

るところはないと思います。

しかし、かけっこが好きな子供達が一流  
の短距離アスリートに成長していくために  
は、走ることに対する情熱を燃やし続ける  
ことと、中学、高校、大学、社会人等々の  
自分自身のレベルや成熟度に合わせた適切  
な練習を選択し、その地道な練習に誰より  
も熱心に取り組み続けることが必須であろ  
うと思います。

企業も同じであると思います。業界に携  
わっている方はたくさんいらっしゃいま  
す。しかし、その業界で一流と呼ばれ、社  
会から歓迎され、尊敬される企業はごくわ  
ずかです。そして、そのような一流の企業  
はその業界で最も努力を続け、お客様や社  
会に喜ばれる仕事をし続けている企業であ  
ると思います。

また、その個々の企業の「成熟度」に合っ  
た取り組みを選択することも大変に重要で  
あると思います。かけっこの例をとれば、  
小学校の運動会で一等賞になった子供に、  
いきなり一流アスリートが採用している練  
習をさせたら絶対に体をこわしてしまいま  
す。その子供に必要なのは、トップ選手回  
りの練習ではなく、正しい走り方の基本や  
基礎体力づくりといった地道な練習であら

うと思います。

企業も全く同様で、私共の様な中小企業  
にもその「成熟度」に合った適切な練習  
訓練の方法や順序がまちががなくあるはず  
です。そういった観点では、それぞれの企  
業が今どのレベルにあり、より社会に価値  
をお届けできる存在に成長するためにどう  
いった取り組みが今の成熟度の中で最も有  
効なのかを認識し、実践していくことは大  
変重要なことであると考えます。

そして、きつとそれらの取り組みは奇を  
てらった様なものではなく、子供達の基礎  
体力づくりにも似た、極めて地道な活動が  
その大部分であると考えております。

「凡時徹底」、あたりまえのことを、誰に  
も真似できない所まで追求した人達は、さ  
まざまな分野で一流と呼ばれる人になっ  
ています。私共も自社の本業に徹して、そ  
の本業の分野で一流と言っていただけの会  
社になれる様、またその道のりが当社の事  
業目的、「全従業員の物心両面の幸せの追  
求と 事業を通じた地域社会の幸せへの貢  
献」に向けた、希望あふれる道と信じ、全  
社員と共に明るく、元気に努力し続けてい  
きたいと考えております。